

## 暮らしの情報



## ゼロカーボンシティひろさき ヒロキチャレンジ!! #15

「ゼロカーボンシティひろさき」の実現に向けて、できることから一緒にチャレンジしてみましょう！  
今号のテーマは宅配便です。

問環境課ゼロカーボンシティ推進係（☎ 32-1969）



## □確実に受け取れる日時を指定する

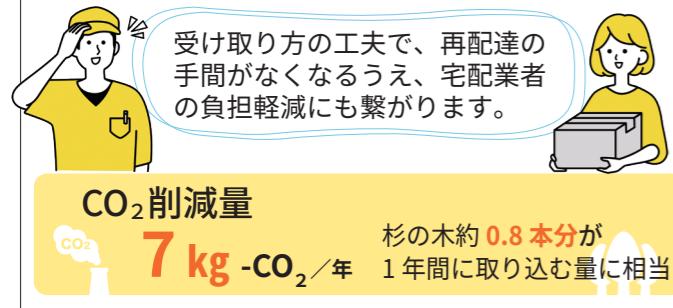
→宅配業者の公式アプリでは、受取日時の変更ができる機能も

## □コンビニや宅配ロッカーなど、多様な受け取り方法を活用する

→仕事帰りや用事の途中など、都合の良い時間に受け取ることができる

## □可能な場合は置き配を指定する

→時間指定ができない荷物や急な外出にも対応できる



## 指名手配被疑者の検挙にご協力を！

令和7年8月末現在、全国の警察から指名手配されている者は、凶悪事件等で特に警察庁が指定している重要指名手配被疑者をはじめとして、約590人に上っています。

これらの被疑者は、殺人、強盗等の凶悪事件のほか、暴行、傷害、窃盗、詐欺、横領等の事件に関して指名手配されており、再び犯行を行う恐れがあります。

警察では、特に重大な犯罪の被疑者を選定した上で、11月中に全国警察の総力を挙げて追跡捜査を行うこととし、これら被疑者の早期検挙に取り組んでいるところです。

指名手配被疑者の発見に向けた捜査活動には、市民の皆さんのご協力が必要です。

指名手配被疑者によく似た人を見掛けたといった情報など、どんなわずかなことでも結構ですので、警察への通報をお願いします。

問弘前警察署刑事第一課（☎ 32-0111）

大学コンソーシアム学都ひろさき  
5大学合同シンポジウム

## 防災の基本は「自助」にあり

## ～「自助」から始める、命を守る防災の備え～

時 12月14日(日)、午後1時30分～3時30分

所 土手町コミュニティパーク多目的ホール

※アップルストリームによるオンライン配信も行います。  
内立岡伸章さん（弘前医療福祉大学短期大学部救急救命学科学科長）による講演で、防災に対する正しい備えについて学ぶとともに、来場者と配信視聴による参加型ワークを通して、市民の防災力を高めます。

対会場=100人(先着順／オンライン参加は定員なし)  
※参加は無料ですが、オンライン参加の場合の通信料は自己負担です。

申電話、二次元コード／12月8日(月)まで

問大学コンソーシアム学都ひろさき事務局  
(弘前大学社会連携課内、☎ 39-3160)



## まちづくり

人と人がつながるまちづくりトーク「ぶらっと」  
参加者募集

「ぶらっと」は、まちづくり事例の紹介や意見交換を行うカジュアルな交流の場です。第8回は「自分らしく花開く場所～Sott Sottの立ち上げからこれまで～」をテーマに、横澤祥子さん（Sott Sott代表）をゲストにお迎えします。

時 11月19日(水)、午後6時30分～8時30分

所 HLS弘前(土手町) 対 15人程度

申ホームページ内の専用フォーム、電話／

11月18日(火)まで

問企画課ひとづくり推進室（☎ 26-6349）



## ボランティア講座

## 子ども福祉編

子ども食堂をはじめとした子どもの居場所について学び、どんなボランティアが必要かを考える講座です。

時 11月19日(水)、午後6時30分～8時(開場は午後6時)

所 ヒロ口(駅前町) 3階多世代交流室2

## コミュニケーション編

ボランティア活動や日常生活で活用できるコミュニケーション技術を学ぶ講座です。

時 11月21日(金)、午後6時30分～8時(開場は午後6時)

所 ヒロ口(駅前町) 3階多世代交流室1

## ～共通事項～

対ボランティア活動に興味のある人=各25人(先着順)

申電話、窓口、Eメール(講座名・氏名・電話番号を明記)

問ひろさきボランティアセンター(ヒロ口3階、☎ 38-5595、E hvc@city.hirosaki.lg.jp)

## 一日体験ボランティア参加者募集

ボランティア活動を始めるきっかけとして、一日だけの体験をしてみませんか。初めてのボランティアを応援します。

時 11月30日(日)、午前8時40分～午後2時30分

集合場所 ヒロ口(駅前町) 3階イベントスペース

内令和7年度食育フェスティバルの手伝い(会場設営、受け付け等)

対市民または高校生以上=8人(応募多数の場合は抽選で決定) 持筆記用具、飲み物、昼食

申電話、ファックスまたはEメール(氏名・住所・年齢・電話番号を明記)／11月14日(金)まで

注意事項 作業しやすい服装(ジーンズ、ジャージ、Tシャツは不可)で参加を／自家用車で参加する際の駐車料金は自己負担

問ひろさきボランティアセンター(ヒロ口3階、☎ 38-5595、F 36-1822、E hvc@city.hirosaki.lg.jp)



## 景観シンポジウムを開催します

生誕120周年を迎える建築家・前川國男が残した建築物をはじめ、昭和を彩った弘前の近現代建築をテーマに、その保存と利活用の可能性を考えるための景観シンポジウムを開催します。

時 11月23日(日)祝、午後3時～5時30分(開場は午後2時30分)

所 スペースデネガ(上瓦ケ町)

内・講師

①歴史・文化的価値のある近現代建築の思想やデザインを活かした保存・活用について…笠原一人さん(京都工芸繊維大学デザイン・建築学系准教授)

②近現代建築の改修デザインがもたらす都市の魅力・

ー 有料広告 —

時とき 所ところ 内内容 対対象・定員 ￥料金 持持持物  
申し込み 問問い合わせ・申込先 F ファクス E メール

価値の向上について…五十嵐太郎さん(東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻教授)  
③北原啓司さん(弘前大学教育学部特任教授)と講師によるパネルディスカッション  
対 100人  
※駐車場は近隣の駐車場をご利用ください。  
問都市計画課(☎ 34-3219)



## 宝くじの社会貢献広報事業

(一財)自治総合センターでは、宝くじの社会貢献広報事業として、町会などのコミュニティ組織が主体となって実施する地域活動に対し、各種助成金を交付しています。



本年度の「一般コミュニティ助成事業」に採択された宮川町会では、宝くじの助成金を活用して、コミュニティ活動に必要なエアコンやテントなどを整備することができました。  
問市民協働課地域コミュニティ振興室(☎ 40-0384)



## もっと知って 町会!



当たり前すぎて気づかなかった町会の活動や、町会役員の人柄を、SNSで魅力たっぷりに発信しています。ごみ集積所の管理、交通安全見守り、広報の配布などの私たちの生活に欠かせない活動、実は町会が行っているんです！

市民協働課のフェイスブック・インスタグラムで発信するシリーズ「もっと知って町会！」では、

## 「町会に馴染みがない人も親しみやすく」

町会の意義や魅力をお伝えしています。  
ぜひご覧ください。



問市民協働課地域コミュニティ振興室(☎ 40-0384)

心ひとつ！みんなで多くの祭り

モット知って町会！

ピカピカの一年生 笑顔で見守ります！

取材協力：中村町会(新代地区)